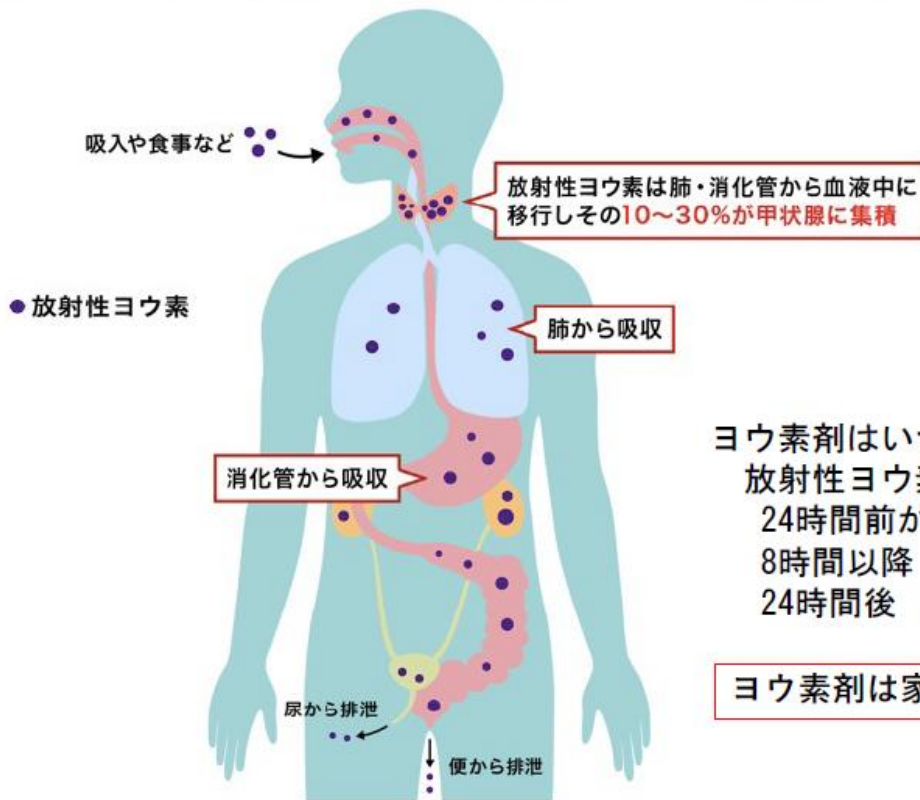


放射性ヨウ素は甲状腺に集まって甲状腺がんの原因になります



ヨウ素剤はいつ飲むのが効果的？
 放射性ヨウ素が取り込まれる
 24時間前から同時 93% 阻止
 8時間以降 40% 阻止
 24時間後 7% 阻止

ヨウ素剤は家庭配布が望ましい

出典：原子力安全委員会原子力施設等防災専門部会

「原子力災害時における安定ヨウ素剤予防服用の考え方について」(PDF)

放射性ヨウ素にたいする防護のためのヨウ素剤服用指示は伝わらなかった

原子力安全委員会

13日に服用指示のファックスを送信
行方不明

16日にファックスを送信
誰も18日迄ファックスに気づかず

オフサイトセンター
避難区域に入り
機能不全

福島県知事

福島県知事は独自に市町村長に対し服用指示をすべきであったが知事にはその自覚がなかった

各市町村長

福島原発事故後に決定
ヨウ素剤の事前配布：原発から
5km圏内全戸配布
30kmまでは避難経路に準備

三春町、双葉町、富岡町、大熊町で独自に決定
全体で約1万人が服用

令和2年2月4日

「安定ヨウ素剤の事前配布に係る運用について」のポイント

○別紙により、安定ヨウ素剤の事前配布の推進について関係道府県に通知した。

○具体的な内容は、以下の2点。

- ・ 緊急配布による安定ヨウ素剤の受取の負担を考慮すると、事前配布によって避難等が一層円滑になると想定されるUPZ内の住民への事前配布を行うこと。
- ・ 町村役場及び保健所等の公共施設で配布する際には、当該公共施設へ住民が出向き、保健師、薬剤師等の専門職が、住民への説明及び住民が記載したチェックシートの確認等を行い、必要な場合に医師への適切な受診勧奨等を行うことで、安定ヨウ素剤を事前配布することが可能であること。

(参考) 原子力防災対策の重点区域

○PAZ:Precautionary Action Zone

原子力施設から概ね半径5km圏内(発電用原子炉の場合)。
放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を行う。
安定ヨウ素剤は事前配布

○UPZ:Urgent Protective action planning Zone

PAZの外側の概ね半径30km圏内(発電用原子炉の場合)。
予防的な防護措置を含め、段階的に屋内退避、避難、一時移転を行う
安定ヨウ素剤は原則緊急配布(自治体判断で一部事前配布可能)

